

2025年3月期 決算説明会資料

2025年 5月30日

株式会社**ランドコンピュータ**
(東証プライム：3924)

目次

1. 会社概要	2
2. 2025年3月期業績資料	8
3. 2026年3月期連結業績予想	16
4. 今後の成長戦略 中期経営計画（VISION 2025）	18
5. 株主還元	29
6. ランドコンピュータのサステナビリティについて	33

1. 会社概要

会社概要



会社名	株式会社ランドコンピュータ (英文 R&D COMPUTER CO.,LTD.)
代表者	取締役会長 田村 秀雄 代表取締役社長 福島 嘉章
設立	1971年(昭和46年) 1月13日
決算月	3月31日
資本金	4億6,006万3,700円 (2025年3月31日現在)
売上高	連結: 137億3,072万円 単体: 122億2,312万円 (2025年3月31日現在)
社員数	連結: 563人 単体: 514人 (2025年3月31日現在)
本社所在地	東京都港区芝浦4丁目13番23号 MS芝浦ビル
関西事業所	大阪府大阪市西区土佐堀1丁目3番20号 三菱重工大阪ビル
連結子会社	株式会社インフリー 株式会社テクニゲート (2023/1/1社名変更)
認定資格	プライバシーマーク 品質マネジメントシステム (QMS) 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)



代表取締役社長 福島 嘉章



本社

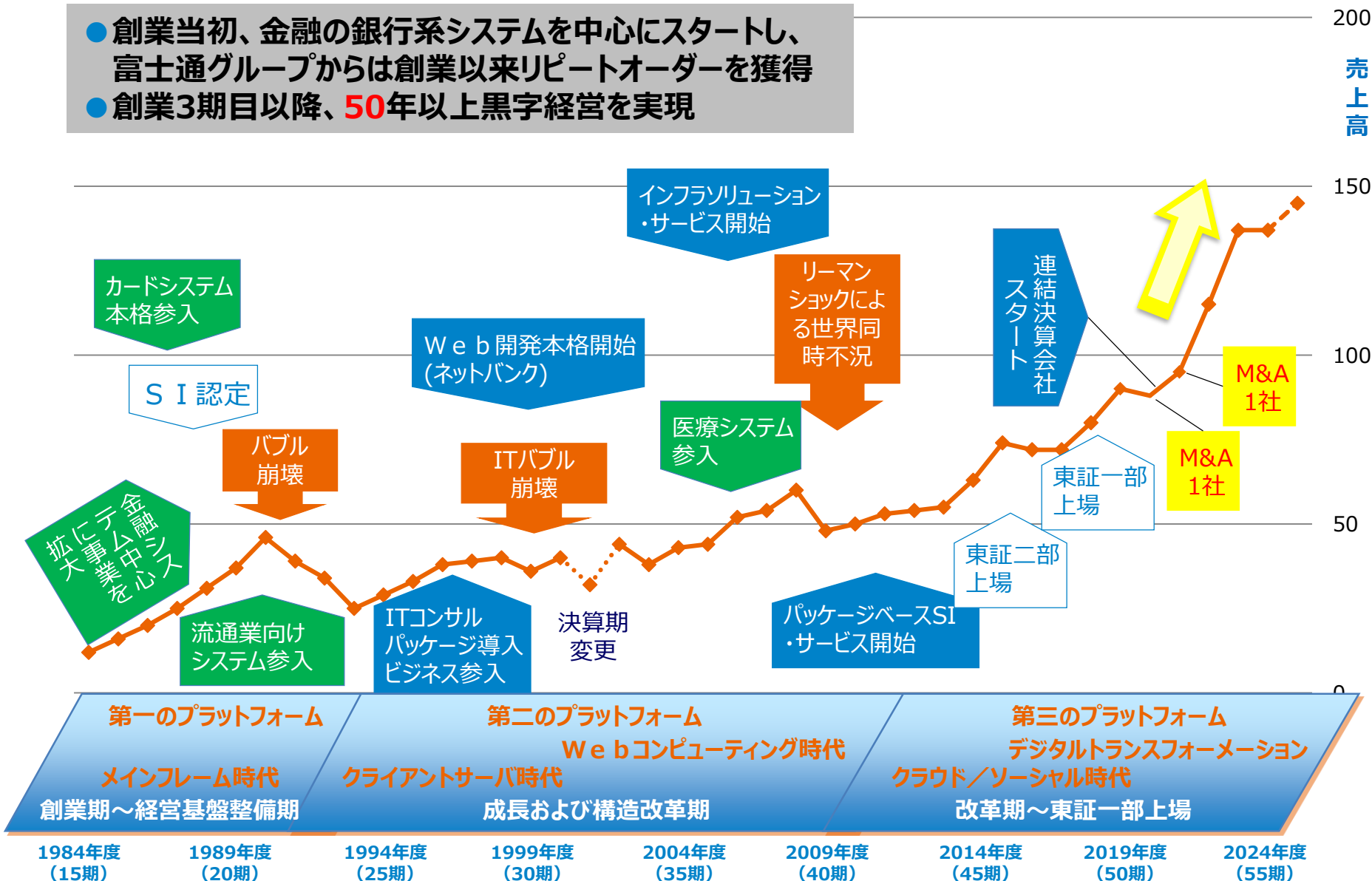


関西事業所

ランドコンピュータの歩み

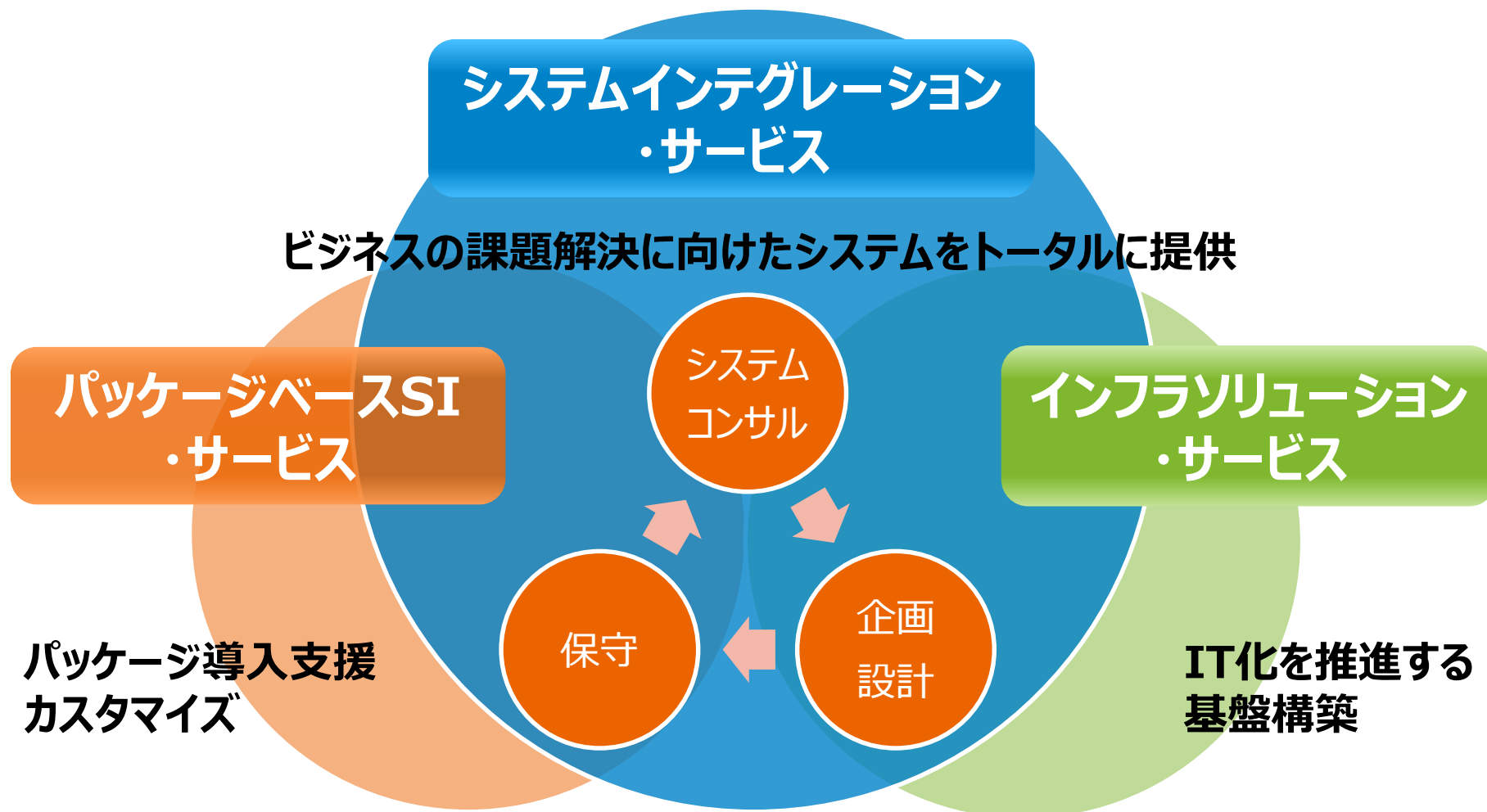
単位：億円

- 創業当初、金融の銀行系システムを中心にスタートし、富士通グループからは創業以来リピートオーダーを獲得
- 創業3期目以降、**50年以上黒字経営**を実現



事業の特徴：ワンストップサービスの提供

お客様のビジネスの「スピード」に対応し、
情報システムの「品質」と「安全性」を高めることを使命として、
ワンストップかつ業種横断的な施策でお客様のビジネスに「解決策」をもたらします。



①

50年にわたる安定した経営実績

②

**技術力、業務知識、
品質に裏付けされた強固な顧客基盤**

③

**創業母体が学校法人だからこそその充実の教育
体制で、人材育成に対する積極的投資**

- **IT系資格：2,134人、業務系資格：284人、平均4.38資格/人
(2025.3末現在)**

④

**ビジネスパートナー（協力会社）
との長期的協力関係構築**

当社の強み 優秀な技術者集団



- 創業母体が学校法人だからこそその充実の教育体制で、人材育成に対する積極的投資
- IT系のみならず、金融、産業・流通、医療など、顧客業務の理解を深める業務系資格を取得する技術者集団
- 顧客目線のサービスを提供することが顧客満足度の向上につながり、基盤事業のリピートオーダーを安定継続的に確保

IT系資格：2,134人、業務系資格：284人、平均4.38資格/人

代表例	
金融	● 銀行業務検定（27人） ● 金融業務能力検定（25人） ● 外務員（8人）
産業・流通	● 販売士（26人）
医療	● 診療情報管理士（4人） ● 医療情報技師（14人）
業種共通	● PMP（43人） ● 簿記（65人）
IT系	● 情報処理技術者（延べ473人） ● ベンダー資格（Salesforce認定資格延べ278人、 他 Microsoft、AWS、OSS-DB、JAVA、Python）

【業務系資格】
顧客と同じ目線で
システムソリューション
サービスを提供

2. 2025年3月期業績資料

2025年3月期業績概況

	25/3期 実績	2024/11/13発表 対計画		対前期	
		25/3期計画	増減率	24/3期実績	増減率
売上高	13,730	14,200	△3.3%	13,732	0.0%
営業利益	1,433	1,230	+16.6%	1,729	△17.1%
営業利益率	10.4%	8.7%	+1.7P	12.6%	△2.2P
経常利益	1,463	1,265	+15.7%	1,743	△16.1%
経常利益率	10.7%	8.9%	+1.8P	12.7%	△2.0P
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,023	840	+21.8%	1,233	△17.1%

増減要因

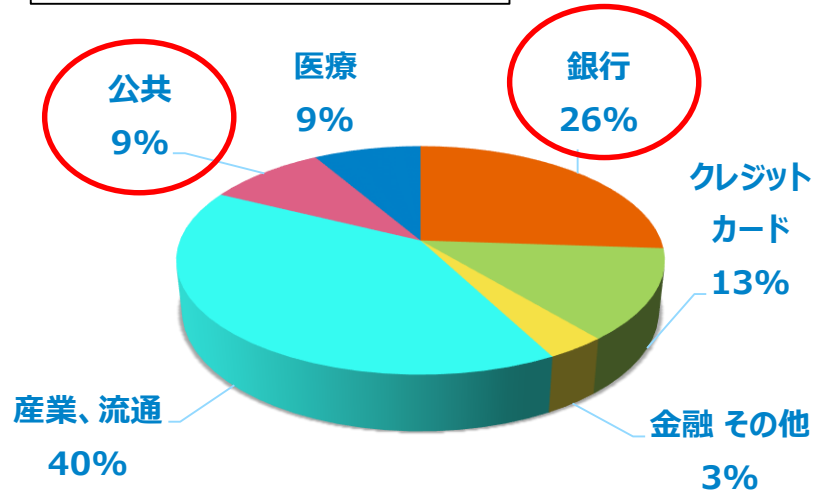
売上高につきましては、パッケージベースSIサービスが堅調に推移した結果、前年度とほぼ同じ金額となりました。利益面につきましては、前年度末から第1四半期にかけて発生した大規模不採算プロジェクトの収束を目指し、大幅な人員補強を行い対応した結果、多額の人件費及び外注費が発生し、大きな赤字を計上する結果となりました。この大規模不採算案件は2025年3月末で終了しており、2026年3月期における本件の損失発生はございません。この結果、営業利益、経常利益、当期純利益ともに減収となりました。

システムインテグレーション・サービス 業種別売上高

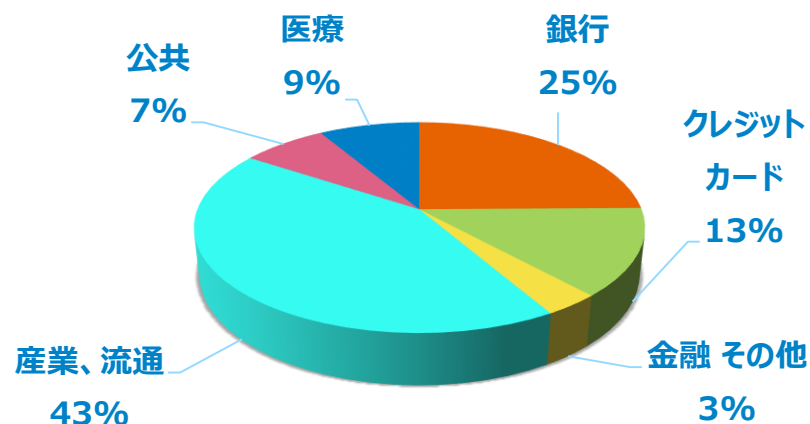
	25/3期	24/3期		
	金額	金額	前期比	
システムインテグレーション・サービス	7,368	7,570	△201	△2.7%
銀行	1,922	1,876	+45	+2.4%
クレジットカード	947	1,015	△67	△6.7%
金融 その他	249	259	△10	△4.0%
産業、流通	2,948	3,226	△278	△8.6%
公共	682	546	+136	+25.0%
医療	618	646	△27	△4.2%

25/3期 業種別（構成比）

○：構成比が増加している業種



24/3期 業種別（構成比）

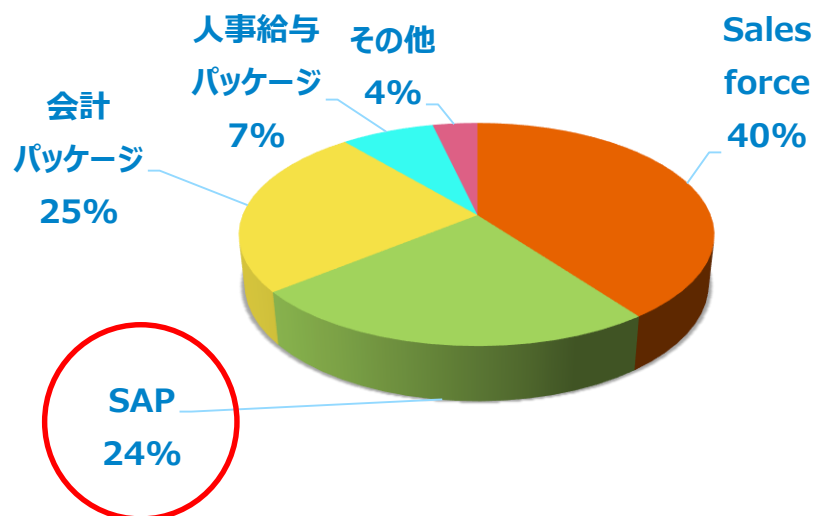


パッケージベースSI・サービス 業種別売上高

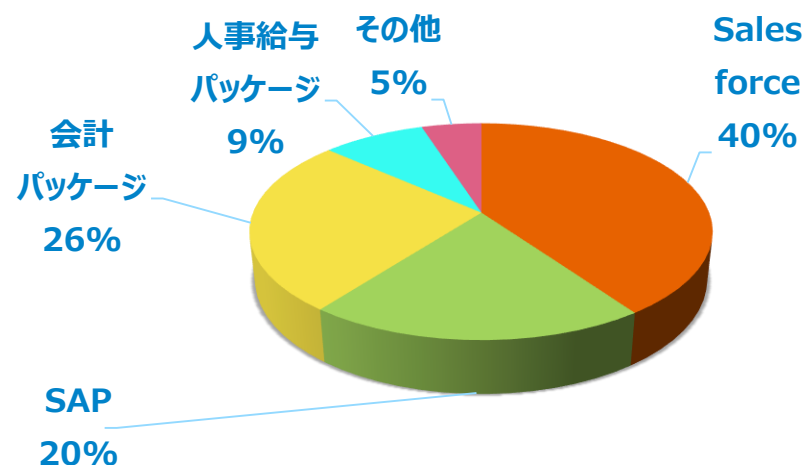
	25/3期	24/3期		
	金額	金額	前期比	
パッケージベースSI・サービス	5,010	4,673	+337	+7.2%
Salesforce	1,998	1,879	+119	+6.4%
SAP	1,211	943	+268	+28.4%
会計パッケージ（SuperStream等）	1,244	1,223	+20	+1.7%
人事給与パッケージ（COMPANY等）	375	396	△20	△5.1%
その他	180	231	△50	△21.8%

25/3期 業種別（構成比）

○：構成比が増加している業種



24/3期 業種別（構成比）

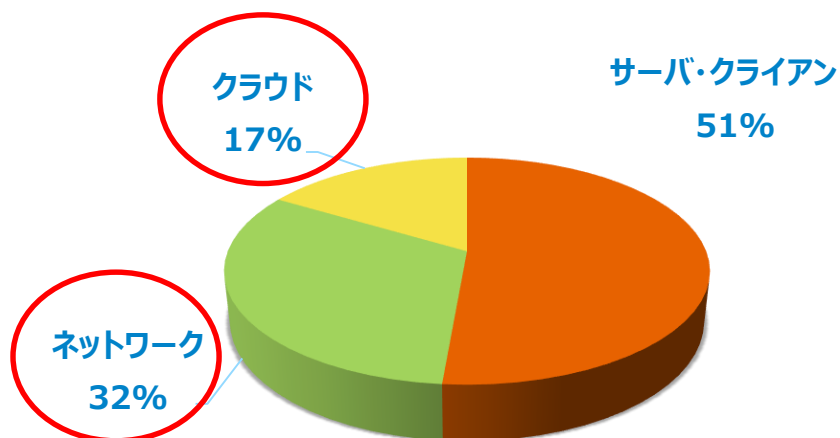


インフラソリューション・サービス 業種別売上高

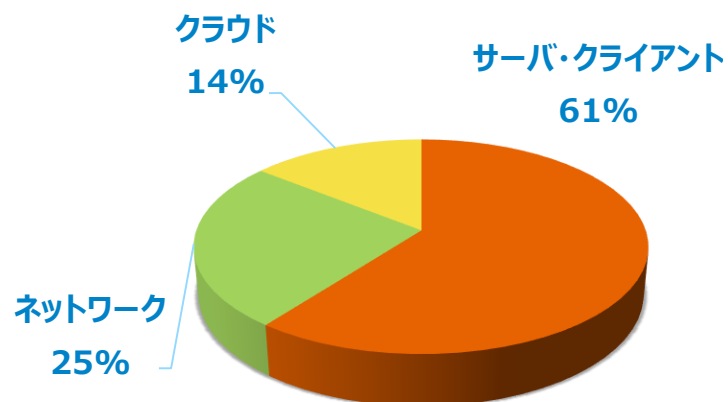
	25/3期	24/3期		
	金額	金額	前期比	
インフラソリューション・サービス	1,350	1,488	△137	△9.3%
サーバ・クライアント	693	898	△204	△22.8%
ネットワーク	434	376	+57	+15.4%
クラウド	222	213	+9	+4.2%

25/3期 業種別（構成比）

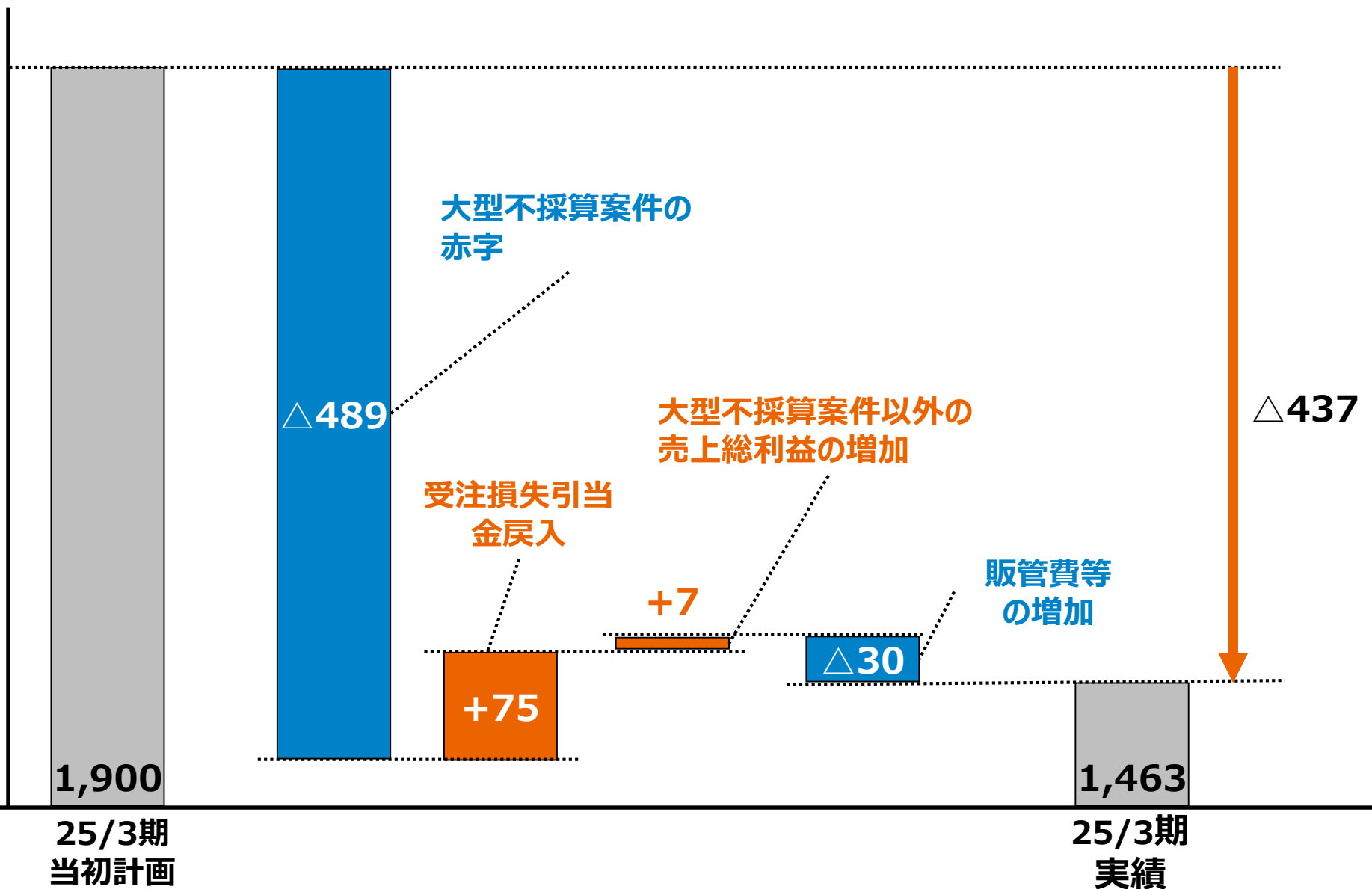
○：構成比が増加している業種



24/3期 業種別（構成比）



2025年3月期 経常利益分析（当初計画比較）

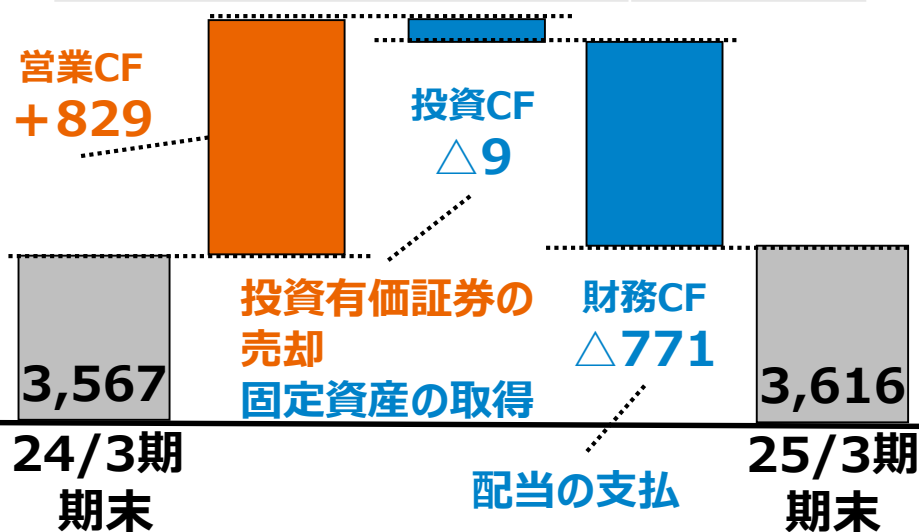


2025年3月期期末 連結貸借対照表

	24/3期末		25/3期末			増減要因	
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		
流動資産	7,366	84.6	7,225	86.5	△141	【増加理由】 (流動) 現金及び預金	+53百万円
固定資産	1,345	15.4	1,123	13.5	△222	未収還付法人税等及び未収消費税等 (固定) ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定	+23百万円 +26百万円
資産合計	8,712	100.0	8,348	100.0	△364	【減少理由】 (流動) 売掛金及び契約資産 (固定) 投資有価証券 繰延税金資産 のれん及び顧客関連資産	△2億25百万円 △75百万円 △50百万円 △1億5百万円
流動負債	2,317	26.6	1,758	21.1	△558	【増加理由】(流動) 未払金 【減少理由】(流動) 買掛金	+14百万円 △52百万円
固定負債	621	7.1	595	7.1	△26	未払費用 契約負債 預り金	△60百万円 △60百万円 △30百万円
負債合計	2,939	33.7	2,353	28.2	△585	受注損失引当金 未払法人税等及び未払消費税等 賞与引当金及び役員賞与引当金 (固定) 退職給付に係る負債	△75百万円 △2億16百万円 △1億16百万円 △24百万円
株主資本	5,647	64.8	5,899	70.7	+251	【増加理由】 利益剰余金	+2億51百万円
その他の包括利益累計額	106	1.2	74	0.9	△32	【減少理由】 その他有価証券評価差額金	△38百万円
非支配株主持分	19	0.2	21	0.3	+1		
純資産合計	5,773	66.3	5,994	71.8	+220		
負債・純資産合計	8,712	100.0	8,348	100.0	△364		
自己資本比率	66.0%		71.6%				

2025年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

営業C/F主な増減要因	金額
税金等調整前当期純利益	+1,549
のれん償却額及び減価償却費	+193
売上債権の減少額	+225
仕入債務の減少額	△52
受注損失引当金の減少額	△75
未払消費税等の減少額	△133
契約負債の減少額	△21
その他流動資産の増加額	△12
その他流動負債の減少額	△67
賞与引当金及び役員賞与引当金の減少額	△116
退職給付に係る負債の減少額	△15
法人税等の支払額	△560



	24/3期	25/3期	前期比
営業CF	1,125	829	△295
投資CF	△122	△9	+112
財務CF	△369	△771	△402
現金及び現金同等物の増減額	633	48	△585
現金及び現金同等物の期首残高	2,934	3,567	+633
現金及び現金同等物の期末残高	3,567	3,616	+48

3. 2026年3月期連結業績予想

2026年3月期業績予想 連結損益計算書

	26/3期 連結予想			
	上期	下期	通期	対前期増減率
売上高	6,850	7,650	14,500	+5.6%
営業利益	765	1,095	1,860	+29.7%
経常利益	775	1,105	1,880	+28.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	530	720	1,250	+22.2%

2026年3月期業績予想は、2025年5月13日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

4. 今後の成長戦略

ランドコンピュータグループ 中期経営計画（VISION 2025）

市場動向

国内IT市場

不透明な国際情勢のリスクを抱えながらも、国内の景気回復に伴い堅調な市場拡大が見込まれる。

新技術

システムの安定稼働が益々重要となる一方で、アジャイル開発や生成AI等の革新的な新技術が次々と登場。

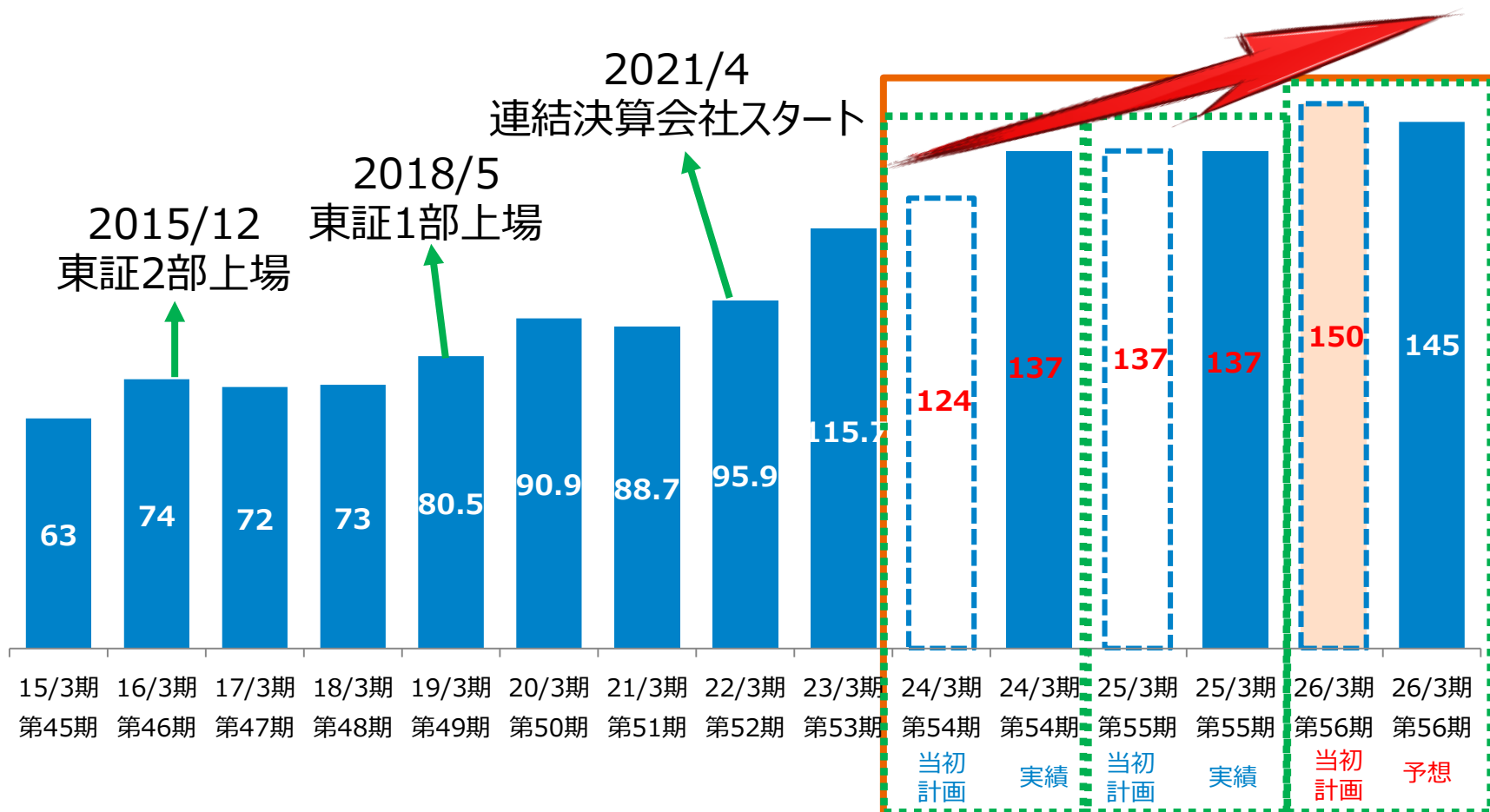


**新デジタル人材の育成と並行して、
従来型開発とDX型開発の使い分けが重要となる。**

分類	特長
従来型 開発	大量のデータを正確かつ効率的に記録、蓄積、活用するシステム。 ●品質・コスト重視： スクラッチ開発、ウォーターフォール、パッケージ、クラウド、共同化
DX型 開発	短時間でサービスの提供と改善を繰り返すシステム。 ●スピード・柔軟性重視： アジャイル開発、ローコード開発、クラウド、モダナイ、生成AI

売上高

VISION 2025



2026年3月期業績予想は、2025年5月13日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

中期経営計画（VISION2025）数値計画

	2023年度 24/3期		2024年度 25/3期		2025年度 26/3期	
	当初計画	実績	当初計画	実績	当初計画	予想
売上高	12,400	13,732	13,700	13,730	15,000	14,500
営業利益	1,429	1,729	1,620	1,433	1,800	1,860
経常利益	1,447	1,743	1,635	1,463	1,850	1,880
親会社株主に帰属する 当期純利益	900	1,233	1,020	1,023	1,150	1,250

積極的なM&Aの推進

業務提携先との更なる連携強化

DXビジネス推進

クラウド、パッケージベースSI

ローコード開発、アジャイル開発

人材育成への投資と得意分野の強化

既存SI分野の更なる売上拡大

東邦システムサイエンスとの業務提携契約締結

互いに創業以来50年以上の歴史を重ねてきたR&DとTSSが手を組み、互いの強みとする事業領域および付加価値サービスを補完し合うことで、お客様への質の高いサービスの提供とDX推進を加速させ、社会の発展に貢献していくことを目的で業務提携契約を締結。

提携内容

- ① 市場拡大
- ② 技術交流
- ③ 人材交流・人的資本強化

(2024年9月30日ニュースリリース)

① パッケージベース・SI

- ・Salesforceビジネスの全社展開継続
- ・SAP
- ・SuperStream

パッケージベースSI・サービス比率の向上
→ 直ユーザー取引の拡大

② インフラソリューション分野

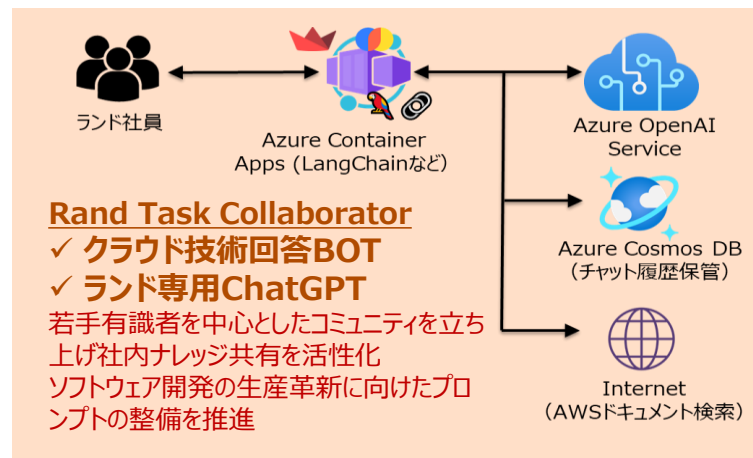
**クラウドビジネス(AWS・Azure等)への
構造改革の推進**

- ① **GeneXus、Microsoft Power Platform**
を中心とした**ローコード開発**要員の育成
→**モダナイゼーション推進**
- ② **ローコード開発、クラウドネイティブ開発は**
アジャイル開発手法がスタンダードに。
現在、当社でのプロジェクト管理ツールの適用開始

□ AI拡張型開発の利用環境を整備

- 製造工程へ仮想ペアプログラミング環境「GitHub Copilot」
- ランド専用生成AI利用環境「Rand Task Collaborator」・右図

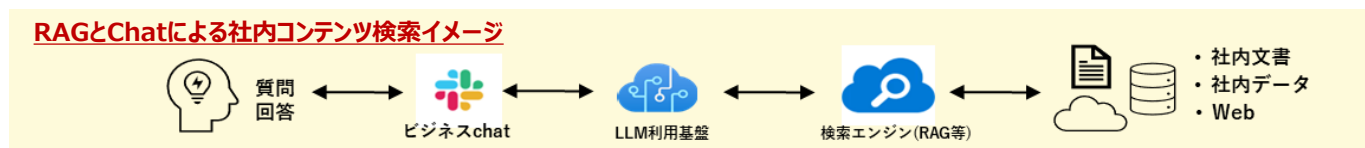
□ Salesforce Einsteinの社内実践と コンタクトセンター向けソリューション化



社員が安心して開発/実務に専念できる生成AI利用環境を提供

□ お客様への生成AI導入提案を推進

- 生成AIを利用したChatBotやRAGによる社内コンテンツ検索環境構築・下図
- 生成AIを組み込んだ業種・業務オフリングの企画検討を開始



□ ServiceNow CMDB利用拡大に向けRAG（ベクトル検索）検証中

社内実践で培ったナレッジを提案に活かし顧客価値を訴求

2025年度は生産革新とモダナイ活用を強化、技術的にはAI Agentへ注力

「モダナイゼーション」を全社事業として推進

- ✓ 25年度モダナイ室を新設し、大手元請様との協業拡大と自社競争力強化を実現
- ✓ 先行市場・技術・競合動向を調査・分析、自社の強みと掛け合わせ、ターゲット領域策定
- ✓ 社内外のナレッジ化やベンダー協業、ソリューション企画を推進

大手様協業による レガシーマイグレーション

メインフレームのクラウド移行

人材不足・高齢化への対応

システム運用の効率化・費用削減

機能集約・レジリエンス強化

自社の強み 価値提供

マルチプラットフォーム

PKGベースSI (SOE)

ローコード

生成AI

ランドコンピュータのモダナイ事業フレームワーク・アセット (例示)

モダナイナレッジ (実績事例・方式構成、生成AI活用、3rd移行ツール利用、業務仕様化等手法)、
業種業務アプリ/インフラ向けオフリング、構成テンプレート、人材育成スキーム、など

中期経営計画（VISION2025） サービスライン別売上高

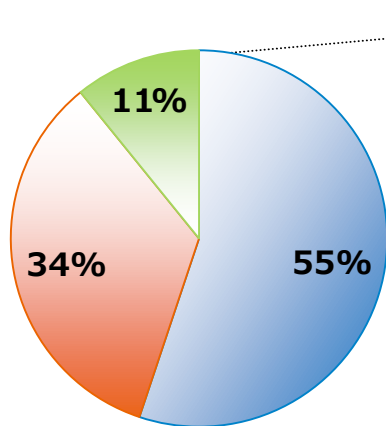


単位：百万円

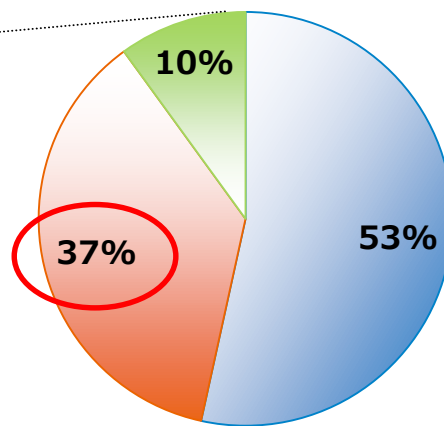
サービスライン	23/03期 実績	24/03期 当初計画	24/03期 実績	25/03期 当初計画	25/03期 実績	26/03期 当初計画	26/03期 予想	平均 成長率
システムインテグレーション	6,345	6,700	7,570	7,008	7,368	7,460	7,750	6.9%
パッケージベースS I	3,879	4,000	4,673	5,192	5,010	6,000	5,300	11.0%
インフラソリューション	1,354	1,600	1,488	1,500	1,350	1,540	1,450	2.3%
売上高 計	11,578	12,300	13,732	13,700	13,730	15,000	14,500	7.8%

■ サービスライン別売上高構成比

(24/03期 実績)

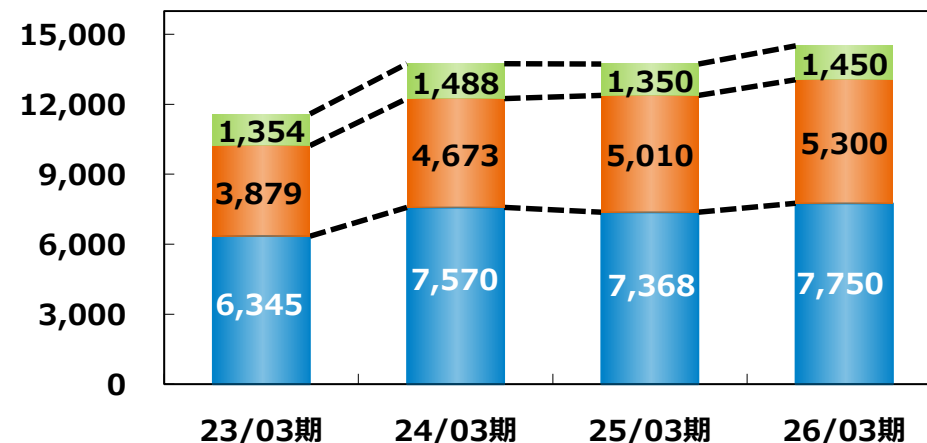


(26/03期 予想)



■ サービスライン別売上高推移

■ システムインテグレーション ■ パッケージベースSI ■ インフラソリューション



2026年3月期業績予想は、2025年5月13日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

5. 株主還元 資本政策・株主還元について

◆資本政策

当社は、人材が最も重要な経営資源と捉えており、企業価値向上するためには人的資本への投資が必要不可欠であります。**採用・教育の強化、DX推進による新事業領域拡大、M&A等**を中心に資本効率を考慮し実施してまいります。

◆株主還元

当社は、業績向上に応じて、継続的かつ安定的な利益還元を行っていくことを基本方針としており、連結配当性向40%以上利益還元していく方針であります。

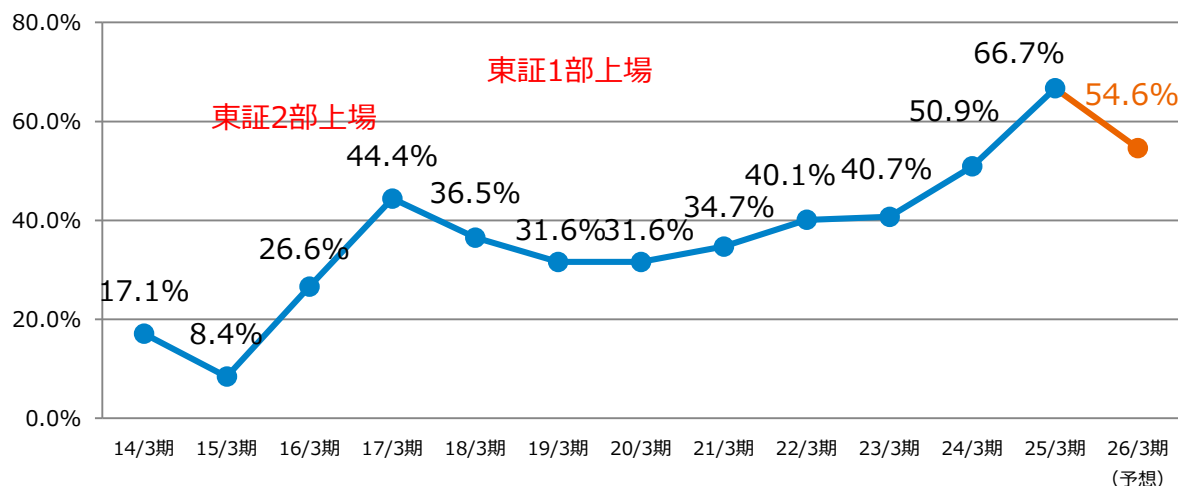
今般、中期経営計画（VISION2025）にて、株主還元策として、**2024年3月期から2026年3月期までの3期間において連結配当性向を50%以上還元**していくことにより、株主還元の強化を図ってまいります。

・配当方針

2024年3月期から2026年3月期までの3期間において、連結配当性向を50%以上還元に変更します。

※業績動向に伴い、配当金、配当性向の見直しを実施

2026/3期
配当性向予想
54.6%

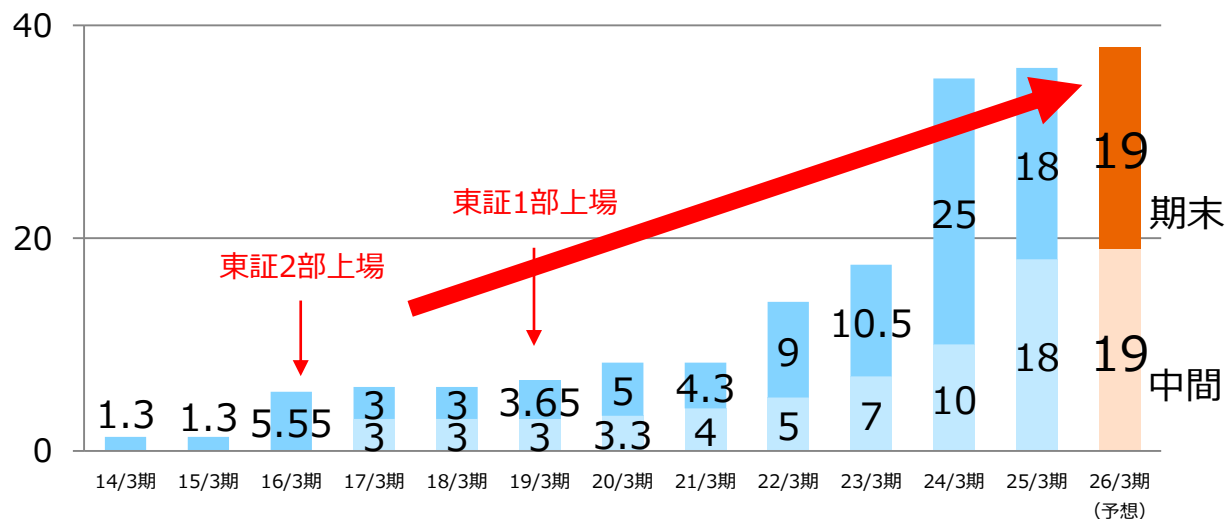


注) 当社は、2015年8月3日に1株を5株の割合で、2016年9月1日に1株を3株の割合で、2021年10月1日に1株を1.5株の割合で株式分割を行っており、2023年11月1日に1株を2株の割合で株式分割を行っております。配当については当該株式分割を考慮して算定しております。

2円増配

2026/3期
普通配当年間予想
38円/1株

2025/3期
普通配当年間
36円/1株



注) 当社は、2015年8月3日に1株を5株の割合で、2016年9月1日に1株を3株の割合で、2021年10月1日に1株を1.5株の割合で株式分割を行っており、2023年11月1日に1株を2株の割合で株式分割を行っております。配当については当該株式分割を考慮して算定しております。

6. ランドコンピュータのサステナビリティについて



ランドコンピュータグループは、ESGを重視した企業経営を推進することで、優秀な技術者集団による高品質で安心・安全な社会インフラを支えるシステムソリューションの提供を通じてSDGsの目標達成に貢献し、社員一人ひとりが健康で生き生きと働くことができる職場づくりを目指します。

ESGへの取り組み

環境

Environment

[View More >](#)

社会

Social

[View More >](#)

ガバナンス

Governance

[View More >](#)

気候変動への対応

>

人材育成

>

人権・ダイバーシティ

>

健康経営

>

ビジネスパートナー

>

コーポレート・ガバナンス

>

品質・セキュリティ

>

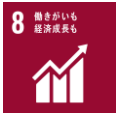
リスクマネジメント

>

分類	ESG主要施策
気候変動への対応	・電力使用量削減 (全拠点の照明LED化、グループ会社拠点集約)
人材育成	・資格取得推進 (IT系資格：2,134人、業務系資格：284人、平均4.38資格/人)
人権・ダイバーシティ	・ダイバーシティ取り組み認定 (D&I AWARD) ・新卒及び第二新卒社員の男女比 1:1 (2025年4月入社) ・育児休暇からの復職率 100% (2024年度)
健康経営	・「健康経営優良法人2024 (大規模法人部門)」認定 ・人間ドックを含む健康診断の自己負担金額なし
ビジネスパートナー	・富士通、日立、Salesforce、SuperStream、AWS等 認定パートナー ・当社コアパートナー (協力会社) : 38社



わたしたちの 7 つの重点目標

01 人材育成	優秀な技術者集団による最適なシステムソリューションの提供を通じて、持続可能な社会インフラの実現に貢献します。	 
02 気候変動への対応	気候変動対策への取り組みを世界共通の課題であると認識し、地球環境に配慮した企業活動を目指します。	
03 人権・ダイバーシティ	すべての人の人権と一人ひとりの多様性を尊重し、個々の能力が最大限発揮できる環境の確立を目指します。	  
04 健康経営	社員一人ひとりが心身ともに健康で明るく生き生きと働くことができる職場づくりを目指します。	 
05 ビジネスパートナー	ビジネスパートナーとの長期協力関係の構築を通じてSDGs目標達成に貢献してまいります。	
06 品質セキュリティ	高品質で安心・安全なサービスの提供を通じて、ステークホルダーから信頼される企業を目指します。	
07 コーポレート・ガバナンス	全ての利害関係者の利益にかなう経営の実現のために、コーポレート・ガバナンスのより一層の充実を図ります。	

ご視聴ありがとうございました。



株式会社 ランドコンピュータ

<https://www.rand.co.jp/>

当説明資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関する最終決定は皆様自身のご判断において行われるようお願いいたします。

当説明資料で掲載している情報のうち過去の歴史的事実以外のものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また2025年5月13日現在で入手可能な情報（2025年3月期 決算短信）に基づいております。

従って、様々な要素によって今後の見通しが変更されることや実際に公表される業績が変動する可能性があります。当社は当資料を使用されたことによって生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。